

映文連 第3回 次世代映像文化研究会セミナー

ICTの急速な進歩に伴い、メディアを取り巻く環境も大きく変わりつつあります。そのような背景のもと、様々な立場の人たちが集まり、映像に関する情報交換を行い、これからの映像文化について研究していく次世代映像文化研究会がスタートしました。今回は、その3回目として「映像文化とイノベーション」というテーマで、下記のセミナーを開催いたします。
(次世代映像文化研究会長 栗山 健)

映像文化とイノベーション

- I. 「メディアからプラットフォームへの転換
～アプリにならないコンテンツは衰退する～」 (60分)
講師：清水 計宏 氏 (清水メディア戦略研究所 代表取締役)

- II. 「イノベーションを理解する ～イノベーションの芽をつぶさない方法～」 (60分)
講師：阪井 和男 氏 (明治大学法学部教授 理学博士)

【清水 計宏(しみず かずひろ)氏 プロフィール】

1953年静岡県生まれ。大阪外国語大学卒業後、77年日本楽器製造(現ヤマハ) ㈱入社。82年退社後、テレコミュニケーション、コンピューター関係の専門紙、雑誌の編集者・記者を経て、89年映像新聞社入社。90年映像新聞編集長。2001年10月映像新聞社を退社し独立、(有)清水メディア戦略研究所を設立。ITビジネス担当者の人脈拡大と世界ネットワークを目指すITビジネス交流ネットワークを発足させ、月例で企業交流セミナー「BUSINESS HINT!」を実施している。主な著書として「マルチメディアへの挑戦」(ソフトバンク刊)、「世界のコンピュータマップ'93/'94/'95」(ジャストシステム)がある。

【阪井 和男(さかい かずお)氏 プロフィール】

1952年和歌山県生まれ。77年東京理科大学理学部物理学科卒業。87年理学博士(論文)取得、93年明治大学法学部助教授、98年明治大学法学部教授。主な公職・役職としては、情報コミュニケーション学会副会長、日本語プログラミング研究会会長、サービス・デザイン研究所所長、一般社団法人CSスペシャリスト検定協会理事、NPO実務能力認定機構理事、DPCマネジメント研究会理事、オープンソース&リソース研究会代表、明治大学サービス創新研究所所長、明治大学死生学研究所副代表など。

日時：2010年6月11日(金) 16:00～18:00

会場：明治大学 紫紺館 3階 S2会議室 (東京都千代田区神田小川町3-22-14)
JR・地下鉄丸ノ内線「御茶ノ水駅」徒歩5分、地下鉄千代田線「新御茶ノ水駅」徒歩6分
http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html

定員：60名(申込み先着順、満員になり次第締め切り)

参加費：1,000円(資料代)※当日会場受付にてお支払いください。

申込方法：別紙申込書に必要事項を記入の上、**6月9日(水)**までにFAXしてください。

申込先：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-2-9 三徳日本橋ビル6階
(社)映像文化製作者連盟 (TEL:03-3279-0236・FAX:03-3279-0238)

主催：映文連 次世代映像文化研究会
共催：情報コミュニケーション学会